

一般会計を可決

新駅

開業まであと11カ月

3月定例会のあらまし

3月定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開催しました。初日には、町長が初の新年度予算の大綱と施政方針「新たな第一歩、発展の礎を築くための予算」と位置付け、未来を見据えた新駅設置と、相見区画整理事業なども引き続きすめ、「確かな力で心のかよう幸せなまちを目指して」と、町政の基本的な考えを表明。

平成23年度の9会計の当初予算をはじめ、平成22年度の補正予算、人事案件、条例の一部改正など24件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

そのほか、陳情1件を審議し、不採択としました。

平成23年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、すべて可決しました。一般質問では、6議員が町政全般にわたり厳しく問いいただきました。

平成23年度予算

過去
最大

154億2000万円の
JR新駅負担金
周辺まちづくり
など22%増

予算の内容

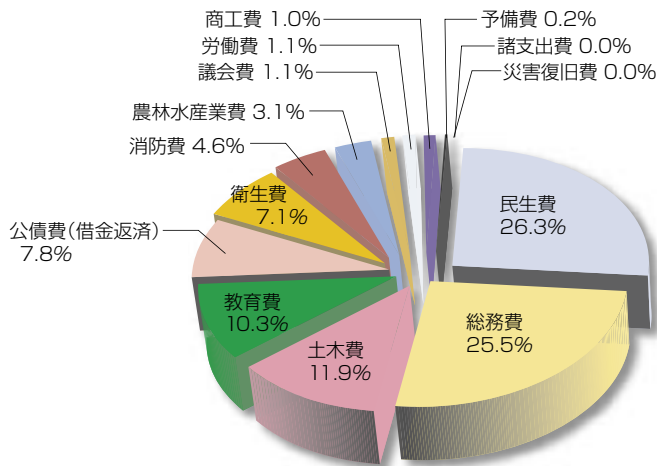
予 算の規模は、一般会計をはじめとする、7つの特別会計ならびに水道事業会計合わせて232億2893万円となり、前年度に対し28億1720万円、13・8%の増となりました。一般会計は、総額154億2000万円で、前年度に対し、27億8000万円増額（22%増）、新駅負担金・自由通路設置委託料、新駅周辺開発などが本格化し過去最大となりました。

町 税の総額は、70億2540万円で、前年度に対し7437万円の増。

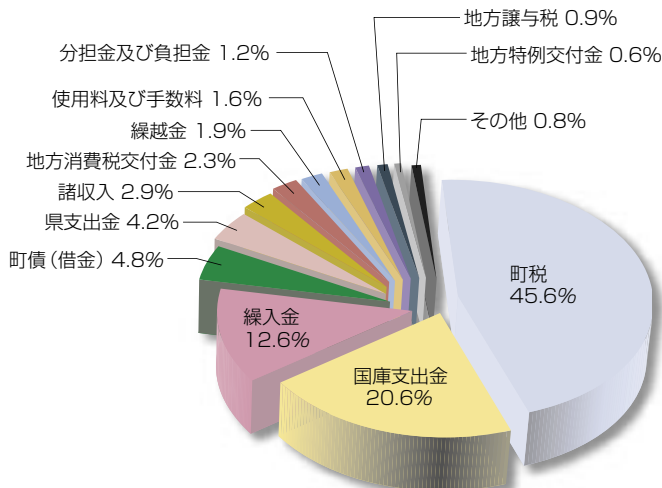
個人町民税は、政府の経済対策などにより19億9200万円。法人町民税は、最悪期からの脱却により2億円とし、前年度と比較し町民税全体では、2億9850万円（15・8%）の増となりました。

歳 出の主なものは、新駅周辺開発、はしご自動車更新、坂崎野場1号線などの改良で39億1091万円。借入金、町税の減収を補てんする臨時財政対策債2億円を含め、総額7億3500万円。

特 別会計の主なものは、幸田駅前土地画整理事業で、主に建物移転の補償で4億8295万円となりました。



【歳出】
(使いみち)



【歳入】
(財 源)

一般会計予算の割合

注目事業

ワンポイントQ

A



行革

事業仕分け 496万円

Q いつどこでやるの。

A 7月23日(土) 町民会館
24日(日) 中央公民館よ。

生命

はしご自動車(30m級)他 1億3650万円

Q どこまで届くの。

A 10階くらいまでよ。

子育て

保育園の完全空調化 3500万円

Q いつまでにつけるの。

A 今年の夏に間に合うよ。

環境

産業

電動アシスト自転車販売助成

Q 補助金はいくら。

A 購入費の1/3で、2万円までよ。

100万円

農業・商工業活性化支援 500万円

Q どういう人がもらえるの。

A 新しく事業を始める人に50万円までよ。

生活に“直結”する
事業をチエック



Q

平成23年度

健康



子宮頸がん等のワクチン無料接種 2913万円

Q 誰が受けられるの。

A 中学1年生から高校1年生の女子よ。

町づくり



幸田駅前土地区画整理事業

Q 何ができるの。

A 共同ビルに飲食店が入るよ。

5億9400万円

教育



中学校教室扇風機設置

Q どこにつくの。

A 普通教室に4台よ。

500万円

放課後子ども教室

Q どの学校。

A 今年は中央小学校で3校目よ。

地域



地域バス2台購入 1,443万円

Q いつから地域バスになるの。

A 来年の春からよ。

防犯



防犯カメラ設置 200万円

Q どこに何台。

A 新駅に2台つくよ。

議案審議

はしご自動車(30m級)更新

1億3566万円で契約



23年間でくろうさま

自動車NOx・PM法※
の該当車両のため更新する。

6社による指名競争入札
契約者 株式会社モリタ
テクノス中部営業部

納期 平成24年2月15日

Q 2回目は落札業社以外
すべて辞退した。予定価
のたて方に問題ないか。

A 予算の範囲で設定。予
定価にあわず辞退した。

Q はしごの保証期間は。
点検の時期で具体的な
期間はない。5年をめぐ
にオーバーホールで安全
性を確かめる。

(全員賛成で可決)

※NOx・PM法とは

窒素酸化物(NOx)と粒子
状物質(PM)による大気汚
染を防ぐため、大都市地域に
規制された法律。

国民健康保険税 引き上げ

収入減で所得割が減少す
るため、費用負担の適正化
を図る。

Q 所得割を5・83%から
6・6%に引き上げる影
響額は。

A 医療分と後期高齢者支
援分あわせて、3200
万円の増収を見込む。

Q 所得減が続くなか、引
き上げは滞納が増える。
一般会計から繰り入れ、
負担の軽減を。

A 前年度よりも一般会計
からの繰り入れを500
0万円増やした。滞納者
は増えるの見込んでいる
が、滞納整理に取り組む
(反対2賛成13で可決)

前納報奨金の 見直し

町県民税は前納報奨金
廃止。固定資産税及び都市
計画税は、100分の0.5を
100分の0.1に、交付限度
額5万円を1万円に引き下
げ。

Q 廃止する理由は。
給与や年金は天引きな
ので普通徴収になり、7
割が制度活用できず不公
平になるため。

Q 福祉事業の財源確保と
しているが、影響額は。
A 2500万円で、事業
を継続するための財源に
あてる。
(反対2賛成13で可決)

監査委員に
羽根淵保博氏
を選任



任期満了にともない、羽
根淵保博氏(71歳・大草)
の選任が提案され、これに
同意しました。

陳情

大幅増員と夜勤改善で、
安全・安心の医療・介護を
求める陳情書(愛知県医療
介護福祉労働組合連合会)
(反対13賛成2で不採択)

国からの一括交付金で 基盤整備

平成22年度の補正予算

(全員賛成で可決)

一般会計

まちづくり交付金、都市交通システム整備事業などの国庫補助金が、社会資本整備総合交付金として一括交付され減額補正した。

住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、小中学校の図書購入で、翌年度に繰越明許費補正した。

緊急支援事業として、木造住宅耐震改修費補助金が上乗せされ、240万円(8件分)を追加した。

将来の財政運営に備え、財政調整基金に8200万円を積み立てた。

特別会計

幸田駅前土地区画整理事業特別会計で、社会資本整備総合交付金に組み替えるなど、4つの特別会計すべて減額補正した。



耐震化工事

会計別3月補正予算 (▲は減額)

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	▲1億4706万円	127億3373万円
特別会計		
国民健康保険	▲3583万円	28億8658万円
後期高齢者	▲3000万円	2億4143万円
幸田駅前土地区画整理事業	▲1300万円	4億9076万円
下水道事業	▲7680万円	6億7185万円

反対

丸山千代子議員

福祉優先のまちづくりに転換を

リーマンショック以降の経済不況は、町財政に大きな打撃となった。町税が落ち込んだにもかかわらず、新駅建設、周辺整備には30億円も投入するなど、今までにない予算編成である。大型開発には町税をつぎ込みながら、住民生活

に密着した使用料・手数料の引き上げは、子どもから高齢者まで負担増を強行した。

一方、大企業の道路占用料は引き下げ、軽減する。長引く不況でくらしが大変なときこそ、福祉優先のまちづくりに転換すべきである。

賛成

討論

池田久男議員

町長公約の実現にむけて

新駅建設などにより約27億円の増加予算となった。この財源は、国・県の支出金約7億円の上積み努力と、町の基金(貯金)の取り崩し約20億円でカバーした。

歳出は、保育園の完全空調化、在宅介護手当の増額など町民要望に応え、

公約である事業仕分けが盛り込まれた。さらに制度維持、健全化運営のため、一般会計から国保会計に繰り入れ増額が図られた。町の将来を見据えた平成23年度予算と判断し前向きに評価する。